

アトピー性皮膚炎の治療方法

治療法	メリット	デメリット	用法	備考
①抗掻痒薬 オクラシチニブ：アポキル	高い効果 86% 即効性 安全・副作用少ない	中程度の治療費	2週間連続投与 その後、暫減	痒みに対して特異的に効果 発揮 犬アトピー性皮膚炎治療薬
②抗炎症薬 ステロイド：プレドニゾロン	高い効果 即効性 低価格	副作用 特に長期投与時に注意		他の薬との併用もある
③免疫抑制剤 シクロスポリン：アトピカ	高い効果 60-70%	副作用（下痢など） 高い治療費 効果発現に時間がかかる	4週連続投与 その後、暫減	犬アトピー性皮膚炎治療薬
④インターフェロン インタードッグ	高い効果 79% 高い安全性 副作用少ない	効果発現に時間がかかる 頻回の投与が必要 高い治療費	週3回、4週注射 その後、暫減	身体に優しい治療法 殆ど副作用ない
⑤減感作療法 注射療法・舌下療法	高い効果 70% アレルギー完治の唯一 の方法	高い治療費 効果発現に時間かかる 全く効果無しもあり	頻回の注射 頻回の舌下投与	事前のアレルギー検査が必要 （別途費用） 3歳以下にオススメ
⑥抗ヒスタミン剤	犬猫ではあまり効果がない。補助療法として使用。			
⑦その他補助療法 上記①～⑥と必ず併用	<ul style="list-style-type: none"> ・外用薬（塗り薬・スプレーなど） ・シャンプー療法（抗菌シャンプー、アレルギー用シャンプー、痒み止めシャンプーなど） ・アレルギー除去食・サプリメント など 			